

広 報

こうさ



【表紙】「甲佐町住まいの復興拠点施設」が完成

「震災復興」「子育て」「防災」を一体で整備

CONTENTS

- 04・特集 令和元年度甲佐町功労者表彰
- 08・こうさの話題 防火もちつきで火災予防
- 11・町からのお知らせ 町民集会や法律相談などを開催します
- 14・あゆみだより 元気に自分らしく暮らすために介護予防に取り組みましょう
- 24・Kosa Style 甲佐町人権擁護委員の皆さん

No.605
December 2019

12

「甲佐町住まいの復興拠点施設」が完成

「甲佐地区防災公園」で落成式を開催

11月22日（金）町が熊本地震からの創造的復興の拠点として役場東側に整備した「甲佐町住まいの復興拠点施設」がすべて完成し、落成式

が執り行われました。同施設は、災害公営住宅と子育て支援住宅、都市防災公園を一体的に整備しています。

■甲佐町の「創造的復興」のシンボルが完成

11月22日（金）豊内の「甲佐町住まいの復興拠点施設」がすべて完成し、落成式が執り行われました。

同施設は、町が役場東側の隣接地12,800平方メートルに熊本地震からの復旧復興における「創造的復興」の拠点として整備に着手。復旧復興だけでなく移住定住や多世代交流につなげるため、甲佐地区災害公営住宅（30戸）、甲佐町子育て支援住宅「ヴェルデ甲佐」（20戸）、都市防災公園「甲佐地区防災公園」を一体的な空間として整備しました。

災害公営住宅は平成31年4月から、子育て支援住宅は9月から入居が開始。災害用井戸や耐震性貯水槽などを備える都市防災公園が11月に完成し、復興する甲佐町のシンボルが出来上がりました。

落成式には、蒲島郁夫知事や災害公



甲佐町住まいの復興拠点施設 全体図



「甲佐町住まいの復興拠点施設」は、震災からの復興や町活性化のシンボルとして甲佐地区災害公営住宅と子育て支援住宅、都市防災公園を一体的に整備しました。

●甲佐地区災害公営住宅

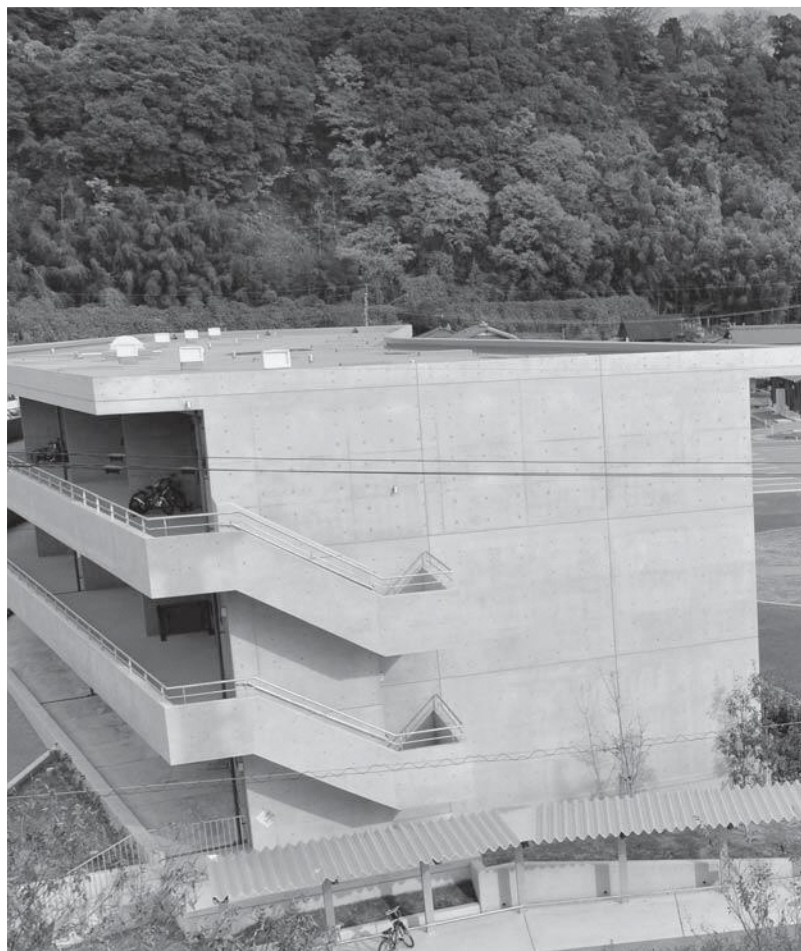
- ・敷地面積：約7,900㎡
- ・木造平屋建 15棟30戸（1戸2LDK（65㎡））
- ・集会所「みんなの家」（木造平屋建て61.92㎡）を設置して入居者や地域の交流の場として活用
- ・平成31年3月完成、平成31年4月入居開始
- ・総事業費：9.39億円

●甲佐町子育て支援住宅

- ・敷地面積：約2,450㎡
- ・鉄筋コンクリート3階建て20戸（1戸2LDK（75㎡））
- ・令和1年8月完成、令和1年9月入居開始
- ・総事業費：7.50億円

●甲佐地区防災公園

- ・面積：約2,400㎡
- ・災害用井戸 1基
- ・防災テント 2基（普段は休憩施設として使用し、災害時は救護室などに利用可能）
- ・総事業費：1.29億円



- 1_完成した甲佐町住まいの復興拠点施設（左から「甲佐町子育て支援住宅」「甲佐地区防災公園」「甲佐地区災害公営住宅」）
- 2_南南東からの卓越風が通り抜ける風の道から「みんなの家」と子育て支援住宅を望む
- 3_建設用地提供者を代表して西住さん（下豊内区）に感謝状を贈呈



「甲佐町住まいの復興拠点施設」は、県が推進する「くまもとアートポリス」事業として整備が進められました。全国から集まった24件の応募のうち、最優秀賞に選ばれた「岡野道子建築設計事務所+ピブルデザイン+ランドスケープ」（東京都）の提案は、南南東の卓越風を活かした風の道や、季節や時間の変化を考慮した自然採光など、甲佐町の環境をデザイン。災害公営住宅だけでなく子育て支援住宅にも各々に土間空間や玄関先の交流スペースが設けられ、コミュニティの繋がりが考慮されていることも高く評価されました。

■「くまもとアートポリス事業」として整備

菅住宅の入居者、土地を提供いただいた地権者など約100人が出席。奥名町長は「本町に暮らす皆様と新たに定住される子育て世代とを優しくつなぐ空間は、復興のみならず創生を見据えた復興への希望となったと思います。将来を担う子育て世代の定住を促し、災害公営住宅入居者との多世代間交流を図るこの施設は、震災からの復興のシンボルとして地域の発展につながる」と期待しています」とあいさつ。

蒲島知事は「県が進めている『創造的復興による将来の地方創生の達成』の第1歩として、甲佐町住まいの復興拠点施設整備ができたことをとてもうれしく思っています」とあいさつされました。

令和元年度

甲佐町功勞者表彰

文化、スポーツ、自治、特別功勞の功績をたたえて

10人の功績をたたえて

11月3日(日)町生涯学習センターで、令和元年度功勞者表彰式が開催されました。

表彰は、町が「町功勞者表彰規程」に基づき毎年文化の日に開催。本年度は多岐にわたり活躍し町に貢献された10人を表彰。町、町議会、区長会を初めとする関係者約80人が出席しました。

式典では、受賞者1人ひとりに奥名克美町長が表彰状と記念品を贈呈。「文化」、「スポーツ」、「自治」の各分野での功績をたたえる功勞と、多分野にわたる功績に対して贈る「特別功勞」により、表彰された10人の榮譽をたたえました。

続いて奥名町長が「新元号で初めての功勞者表彰を受賞された皆様には、これまでの活躍に対して心からの謝意を申し上げます。貴重なご経験を基に、本町の地域振興並びに町政発展、震災からの復興のために、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます」とあいさつ。続いて宮川安明町議会議長、西住幸郎区長会長が祝辞を述べました。

功勞者を代表して、中村幸男さん(緑町区)が「今後とも一町民として甲佐町の創造的復興のため、がんばっていかねばならないと気を新たにしています。本日はありがとうございます」と謝辞を述べました。

令和元年度甲佐町功勞者表彰受賞者

文化功勞



松井 天一さん
〔仁田子区〕

甲佐絵画クラブ理事、甲佐町文化協会常任理事、町生涯学習センターの緞帳の下絵制作

文化功勞



本田 莊一さん
〔上早川二区〕

町文化財保護委員、新甲佐町史調査協力委員、龍の舞・龍神太鼓保存会副会長

スポーツ功勞



芦原 博幸さん
〔糸田区〕

甲佐町バレーボール協会事務局長、甲佐町バレーボール協会会長

自治功勞



緒方 哲哉さん
〔東寒野区〕

町議会議員(議長、副議長、産業厚生常任委員会委員長)

自治功勞



渡邊 俊一さん
〔下豊内区〕

町議会議員(議会運営委員会副委員長)

自治功勞



中村 幸男さん
〔緑町区〕

町議会議員(文教保健常任委員会委員長、監査委員、副議長、議長など)

自治功勞



本郷 昭宣さん
〔糸田区〕

町議会議員(議会広報編集特別委員会委員長、総務文教常任委員会委員長、副議長など)

自治功勞



中村 東一さん
〔府領区〕

町嘱託員(6期12年)

特別功勞



奥村 大助さん
〔麻生原区〕

町嘱託員、町農業委員、乙女地区社会福祉協議会会長、上益城農業協同組合理事など

特別功勞



福永 和彦さん
〔和田内区〕

町監査委員、町嘱託員、甲佐町老人クラブ連合会会長など

【功勞者説明】功勞の表彰分野、功勞者氏名、行政区、表彰に該当すると認められた経歴および功績など

令和元年度甲佐町産業文化祭

郷土の豊かな実りと文化の薫る秋の祭典

実りを喜び文化を楽しむ 彩り豊かな秋のイベント

11月10日（日）令和元年度甲佐町産業文化祭が、町役場町生涯学習センターなどで開催されました。

町、上益城農業協同組合、甲佐町商工会、甲佐町文化協会の共催で、来年創立100周年を迎える県立甲佐高等学校も参加。

同センター側駐車場では特設ステージが設けられ、農業

祭・商工祭の各種イベントを開催。甲佐中学校吹奏楽部の演奏やミカンのつかみ取り、キッズダンス、本町特産のニラを使ったニラ飛ばし大会、農産物即売会、大抽選会などで大盛況。

会場には、商工会の展示即売などの模擬店も出店。町内生産者などが栽培した農産物や加工品、町内飲食店のグルメや絞りたて牛乳の無料サービス、おにぎりの引き換え会、ニラ1000人鍋の販売、上



益城消防本部による救急車の見学会、熊本県警によるパトカーの乗車体験などが開催。甲佐町技能者組合による木工体験コーナーなども開設されました。

同センターで開催された文化祭には、文化協会の約50団体が参加。同センター・ギャラリー・モールなどでは、絵画や水墨画、書道、陶芸、写真、短歌、川柳、肥後狂句などの文芸作品、木工品、パッチワークなどの手工芸品を多数

展示。

同センター・ホールでは、文化祭発表会を開催。詩吟や三味線、オカリナ、コーラス、日舞、洋舞、フラダンス、相撲甚句、マーチングなど約150人がステージ発表し、

会場には拍手が響きました。また、9日（土）には、同センター・ホールで甲佐町音楽教育連盟による発表会「わかあゆコンサート」も開催。保育園児や小・中学生がピアノ演奏などを披露しました。



農業祭部門の表彰式を開催

町内で生産された農産物や加工品の中から、県上益城振興局および上益城農業共同組合が品質や見た目などの項目で審査。入賞者が表彰されました。

●農業祭部門最優秀賞受賞

- ▶果樹の部 井上 英利さん（西寒野区） ▶花き・花木の部
- ▶野菜の部 長野 紀久子さん（府領区） 大滝 良一さん（下豊内区）
- ▶ニラの部 松野 文男さん（糸田区） ▶農産物加工品の部
- ▶普通作の部 奥村 盾雄さん（吉田区） 高橋 由加里さん（西寒野区）

甲佐町球技大会・甲佐町駅伝競走大会・地区対抗体力づくり駅伝大会を開催 甲佐を舞台に繰り広げられた熱戦



▲一斉にスタートを切る第49回町駅伝競走大会の中学男子の部、高校一般男子の部、高校一般男女混合の部の1区走者たち

●令和元年度甲佐町球技大会を開催

10月20日(日) 令和元年度甲佐町球技大会が、町内各会場で開催されました。

甲佐町体育協会(奥名克美会長)が主催し、町、町教育委員会が共催。ソフトボール、バレーボール、ビーチボールバレー、グラウンド・ゴルフ、アジャタ、ゴルフ(期日前開催)の6競技に359人が参加し、甲佐地区が総合優勝。表彰式では、同協会のスポーツ功労者として芦原博幸さん(糸田区、バ



▲町生涯学習センターで行われたアジャタ競技

レーボール)と甲斐良二さん(岩下二区、水泳)、優秀者として森口トニ子さん(岩下二区、水泳)と志村優奈さん(八丁区、剣道)が表彰を受けました。

●町駅伝競走大会・地区対抗駅伝競走大会を開催

11月17日(日) 豊内で、第49

回町駅伝競走大会と第45回地区対抗体力づくり駅伝競走大会が開催されました。

同大会は、駅伝競走の普及と幅広い年代を対象とした健康づくりを目的に、甲佐町体育協会、町教育委員会、甲佐町陸上競技協会が主催。

町駅伝競走大会には、町生涯学習センターを発着とする5区間7・2キロのコースに5部門15チームが出場。地区対抗体力づくり駅伝競走大会では11チームが、世代別となる6区間4・8キロのコースをたすきでつなぎました。

■令和元年度甲佐町球技大会結果

【総合成績】

- ・優勝 甲佐地区
- ・2位 乙女地区
- ・3位 竜野地区

【種目別優勝チーム】

- | | |
|--------------------|----|
| ・グラウンド・ゴルフ (男子) | 甲佐 |
| ・グラウンド・ゴルフ (女子) | 甲佐 |
| ・バレーボール | 甲佐 |
| ・アジャタ | 乙女 |
| ・ソフトボール | 竜野 |
| ・ビーチボールバレー (フリー) | 竜野 |
| ・ビーチボールバレー (45歳以上) | 甲佐 |
| ・ゴルフ | 乙女 |

■第49回町駅伝競走大会結果

【部門別優勝チーム】

- | | |
|-------------|--------|
| ・小学男子の部 | |
| 白旗少年野球クラブA | 28分58秒 |
| ・小学女子の部 | |
| 龍野ドラゴンズ | 33分16秒 |
| ・中学男子の部 | |
| 甲佐中A | 26分31秒 |
| ・高校一般男子の部 | |
| 甲佐高校連合チーム | 26分51秒 |
| ・高校一般男女混合の部 | |
| 甲佐高校職員チーム | 37分31秒 |

■第45回地区対抗体力づくり駅伝競走大会結果

- | | |
|------------|--------|
| ・優勝 甲佐Dチーム | 17分34秒 |
| ・2位 龍野Aチーム | 17分47秒 |
| ・3位 白旗Aチーム | 19分24秒 |

教訓を活かして災害に備えるために

11月23日（土）町内各地で、町総合防災訓練が行われました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの自然災害に迅速に対応

できるように日ごろから備えるため、町が主催。町消防団や各自主防災組織など約2,000人が参加し、町内各地でさまざまな訓練に取り組みました。



1_西寒野区で行われた初期消火訓練 2_町消防団は幹部研修として災害図上訓練を実施 3、4_下豊内区では、災害公営住宅や子育て支援住宅の入居者も参加して防災マップ作成や炊き出し訓練を実施 5_町役場職員研修では、職員同士が災害時の対応について意見を交換

「公助」の限界と「自助」「共助」の重要性

くらし安全推進室
佐々木 善平 室長



昨今の大規模災害では、住民を支援すべき行政自体が被災し、公的な支援（公助）が滞ってしまう場合があります。そのようなとき、特に重要なのは地域コミュニティの防災力（自助・共助）です。町では、防災士の育成や自主防災組織の活動の支援を行っています。

いざというとき、住民同士の支え合いは大きな力になります。防災訓練などを通して地域の防災力を高めましょう。

●お問い合わせ先

町くらし安全推進室 ☎096-234-1167

■甲佐町総合防災訓練

11月23日（土）町内各地で甲佐町総合防災訓練が開催されました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの災害に迅速に対応できるように備えるため、町が主催。町消防団や自主防災組織など約2,000人が参加し、訓練に取り組みました。

■町内各地で訓練を実施

町の訓練は、午前8時の訓練放送を皮切りに、各行政区での避難訓練でスタート。その後、防災マップ作成や炊き出し訓練などさまざまな訓練

を行政区や自主防災組織、消防団が連携して行いました。

町消防団は、町総合保健福祉センターで災害図上訓練を実施。防災士の松尾憲親さん（緑町区）を講師に迎え、地域の危険について考えました。甲佐町商工会女性部や上益城農業協同組合女性部、町の保健師などは町農業研修センター「ろくじ館」で、災害時の炊き出しについて研修。講師を務めた御船保健所の津川禎子さんから災害時の衛生・栄養管理について学びました。町生涯学習センターでは、町役場職員研修が実施され、災害時の対応について考えました。



▼園児たちの前で力強くきねを振るう消防団員



防火もちつきで火災予防

町消防団と若草保育園幼年消防クラブ

11月8日（金）若草保育園（元村健正園長104人）で防火もちつきが行われました。同イベントは11月9日（土）～15日（金）の「秋の全国火災予防週間」に合わせて、町消防団（池田実団長448人）が幼年消防クラブを設置している同園で実施。団員とのもちつきを通して、消防団活動への理解と協力、火災予防の呼び掛けなどを目的として行われ、本部役員や保護者なども参加しました。

園庭で園児たちの大きな掛け声に合わせて、団員たちが威勢よくもちつき。園児たちも交代できねを振るい、火災予防の願いを込めて力強くつきました。

もちつき後、消防自動車の乗車体験を兼ねて、園児たちが町内の福祉施設などを訪問し、防火ポスターを配布。訪問先の施設入居者などの前で整列した園児たちは、「火遊びは絶対にしません」と大きな声で宣言し、火の用心を呼び掛けました。

バス乗降体験楽しかったよ

令和元年度「子どもふれあいデー」

10月27日（日）町民センターで令和元年度「子どもふれあいデー」が開催されました。

同イベントは、子どもたち同士のふれあいを通して、児童らに優しい心や協調性を育んでもらうことを目的として町が毎年開催。町内各小学校の児童や保護者ら165人が参加しました。

参加した児童らは、熊本バス株式会社の協力により行われた公共バスへの乗降体験や射的ゲーム、綿菓子作りなどを通じた交流を楽しみました。



▲町民センターで公共バスについて説明を受ける参加者ら



▲コミュニケーションについて講演する村上美香さん

相手に伝える技術を学ぶ

甲佐町ボランティア連絡協議会総会および講演会

11月7日（木）町生涯学習センターで甲佐町ボランティア連絡協議会総会および講演会が開催されました。同協議会（赤星眞照会長）は、本町のボランティア間の連携強化を通して地域社会の福祉増進を図ることを目的に、昨年度から新たな体制で活動。総会では昨年度の活動報告などが行われました。

講演会では、村上美香さん（ヒトコト社）が「もっと分かる！伝える！コミュニケーション」と題して講演。参加者118人は、村上さんがアナウンサー経験を通して培った、伝える技術について学びました。

健康増進と異世代交流の12キロ

10月25日（金）甲佐町ナイトハイクを開催

10月25日（金）、甲佐町ナイトハイクが開催されました。

青少年の育成と心身の鍛錬を行うとともに、健康増進および異世代交流、また家族の触れ合いを深めることを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が主催。

町生涯学習センターを発着とし、午後7時に出発。益城橋を渡って美里町の二俣五橋で折り返し、日和瀬橋を渡って戻る約12キロのコースを約200人が歩きました。到着後には、本町の特産品などの参加賞が配られました。



▲町生涯学習センターを笑顔で出発する参加者ら



▲鈴木事務所長（左）へ要望書を手渡す奥名町長

洪水から地域の暮らしを守るために

国土交通省熊本河川国道事務所に要望書を提出

11月1日（金）国土交通省熊本河川国道事務所で、本町を貫流する一級河川緑川の管理を行う同事務所に対して、河川整備促進などについての町の要望活動を行いました。

町は、主に①洪水に備えた堤防の整備、②総合運動公園整備などのかわまちづくり支援事業の協力的体制継続、③防災ステーションの整備、④内水対策に伴う排水機場および排水ポンプの整備の支援協力、⑤河川流量を確保するための浚渫（しゅんせつ）および樹木伐採について要望。奥名克美町長から鈴木学熊本河川国道事務所長に要望書を手渡しました。

ドラ・パト隊の活動を全国に発信

全国防犯ボランティアフォーラム2019



▲全国防犯ボランティアフォーラムで龍野地区防犯パトロール隊の活動を紹介する北川隊長（右）と市下隊長

10月26日（土）神奈川県で開催された全国防犯ボランティアフォーラム2019で、龍野地区防犯パトロール隊「ドラ・パト隊」（北川國昭隊長）が活動報告を行いました。

同フォーラムは、全国各地の自主的な地域防犯活動の先進的な取り組みについて他団体と共有することを目的に警察庁が主催しており、今回で14回目。全国各ブロックで開催された防犯ボランティアフォーラムから選出された、7団体が活動報告や意見交換を行いました。

九州ブロック選出の同隊は、龍野地区社会福祉協議会が中心となって平成20年に発足。防犯ベストや帽子、たすき、腕章などを身に付けて散歩や買い物などをする「ながらパトロール」や地域の子もたちの見守り活動などを実施しています。

また、熊本地震以降は、青色回転灯装備車両を活用して町内の仮設団地の巡回パトロールを行うなど、地域の現状を踏まえた防犯活動を展開していることなどが高く評価されて、今回の選出となりました。

人権

町民集会や法律相談などを開催します



詳しくは町民センターまでお尋ねください

■12月4日(水)～10日(火)は甲佐町「人権週間」です

本町では、毎年世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、12月4日から10日までを「人権週間」としています。同週間は、憲法で保障する基本的人権の尊重と町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、甲佐町「人権週間」実行委員会、町、町教育委員会が主催。期間中は町民集会や人権パレードを開催します。また、町内の小・中学生、高校生の啓発作品を町生涯学習センター・ギャラリーモールなどに展示します。

利用ください。

町民集会

開催日時

12月7日(土) 午前9時

会場

町生涯学習センター

内容

人権講演

講師 今坂洋志さん(LGBT

Q十の会くまもと代表)

演題 「性的マイノリティの問題

は人権の問題です」

・小・中学生の人権作文発表

・甲佐高校の生徒による体験活動

発表

・人権パレード

■特設人権(法律)相談

▼開設日時

12月2日(土) 午前9時～正午

▼会場

町民センター

■人権作品の展示

期間中、小・中学校の児童・生徒による硬筆、習字、甲佐高校や松橋西支援学校上益城分教室の生徒たちの標語などを町生涯学習センター・ギャラリーモールに展示します。ぜひご覧ください。

町民センター ☎ 096-234-2459

国民健康保険

■国民健康保険資格の適正な適用にご協力をお願いします

町では、毎年12月を「国民健康保険制度適用適正化月間」とし、国民健康保険の資格の適正な管理と業務の効率化を図ることなどを目的として、社会保険などの適用対策の推進に努めています。

■国民健康保険の加入や脱退に関する届け出をお忘れなく

国民健康保険は、74歳までの社会保険(職場の健康保険で共済・船員保険も含む)の被保険者およびその被扶養者を除くすべての人に加入していただく制度です。社会保険を脱退または加入など資格の変更があった場合は、町住民生活課へ届け出をお願いします。

■国民健康保険への届け出が必要手続き

●国民健康保険への加入届

▼届け出が必要な場合

社会保険を脱退した場合

▼手続きに必要なもの

社会保険を脱退した証明書または離職票、マイナンバーが分かるもの、印かん

●国民健康保険の脱退届

▼届け出が必要な場合

社会保険に加入した場合

▼手続きに必要なもの

社会保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、マイナンバーが分かるもの、印かん

●社会保険の被扶養者になれる

▼場合がありますのでご確認を

同じ世帯に社会保険の被保険者がいる場合、その保険の被扶養者として認定されることがあります。扶養認定できるかはお勤め先にご相談ください。

■所得の申告はお済みですか?

国民健康保険税の軽減判定などに必要ですので国民健康保険の加入者で所得の申告がお済みでない人は、町税務課にご相談ください。

12月は国民健康保険制度適用適正化月間



国保に関する届け出は町住民生活課まで

町住民生活課 ☎ 096-234-1113(内線108)

付加年金で受給年金額を増やしませんか



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

国民年金付加年金制度で将来の受給年金額を増やせます

国民年金付加年金制度とは、国民年金第1号被保険者（国民年金に加入している方）および任意加入被保険者（65歳以上の方を除く）が、定額保険料に付加保険料を上乘せして納めることで、受給年金額を増やすことができる制度です。

▼定額保険料

16,410円/月（令和元年度）

▼付加保険料

400円/月

■付加年金額について

付加年金額は、「2000円×付加保険料納付月数」です。例えば、20歳から60歳までの40年間、付加保険料月額400円を上乘せ

して納めた場合、40年間で総額192,000円を余分に支払うこととなりますが、年金受給時に年額96,000円が加算されますので、2年間で取戻すことができます。

■付加保険料を納める際の注意事項

納めていただく際、次の点に注意してください。

- ① 付加保険料の納付は、申し込んだ翌月からとなります。
- ② 付加保険料の納期限は翌月末と定められております。
- ③ 月末が土曜日、日曜日、休日などにあたる場合および年末の納期限は、翌月最初の金融機関などの営業日となります。
- ④ 納期限を超過した場合でも、期限から2年間は付加保険料を納めることができます。
- ⑤ 付加保険料を納付することを希望しない場合は、付加保険料納付辞退申出書の提出が必要です。
- ⑥ 国民年金基金に加入している方は、付加保険料を納めることはできません。

▼お問い合わせ先

熊本東年金事務所
096・367・8144

町住民生活課 ☎ 096-234-1113（内線 104）

年末年始のごみ収集・し尿くみ取り計画（12月24日〔火〕～1月6日〔月〕）

● 家庭ごみ収集

	収集地区	収集日	クリーンセンターへの直接持ち込み
年末	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月26日（木） 12月30日（月）	・通常持ち込期限 12月27日（金） ・通常持ち込時間 午前9時～午後4時30分 ・持ち込料 100円/10 ^{kg} 。 ※個人の持ち込可 ※時間厳守
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月24日（火） 12月27日（金）	
年始	星の川団地、立岩団地・竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月6日（月）から	1月6日（月）から通常持ち込み可
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月4日（土）から	

▶お問い合わせ先 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎ 096 - 282 - 0688

● し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年末	全地区	12月28日（土）まで	年末は非常に混み合いますので、早めにし尿くみ取り業者にお申し込みください。
年始	全地区	1月4日（土）から	通常受け入れ可

▶お申し込み・お問い合わせ先

- ・宮内地区、甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部、星の川団地①）、竜野地区、乙女地区、白旗地区
甲佐衛生社 ☎ 096 - 234 - 1217
- ・甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部を除く、星の川団地②）
米村衛生社 ☎ 096 - 234 - 0308

町環境衛生課 ☎ 096-234-1169

Library

町生涯学習センター図書室からの12月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■ 0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■ 日時 12月12日(木)
午前10時30分～

■ 会場 図書室おはなしのへや

死者との再会を叶える使者「ツナグ」の第2弾 辻村 深月 著 / 『ツナグ 想い人の心得』



新潮社

小説

もう一度だけ亡くなったあの人に会えるとしたら、あなたは何を伝えますか。死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年の務めを果たした祖母から、歩美は使者としての役目を引き継いだ。後悔を抱えて生きる人々の心を繋ぐ、使者の物語。大切な人たちが思い浮かんで、あたたかい気持ちに包まれる、優しい読後感の1冊です。

愛すべきこざるのゆかいないたずら！

ケンティン・ブレイク著 / 『ヒルダさんと3びきのこざる』



徳間書店

児童書

ヒルダさんが飼っているのは3匹のこざる。こざるたちの健康のために食事に気を使い、大事にかわいがっていました。ちょっぴり元気がよすぎるこざるたちは、ヒルダさんの留守中にとんでもないいたずらをして…。愛すべきこざるのいたずらとは。英国の代表的な絵本作家コンビが描いた、子どもたちに人気のお話です。

ノーベル賞受賞者に影響を与えた名著を解説 マイケル・ファラデー著 白川 英樹 監修 / 『ロウソクの科学が教えてくれること』



S B クリエイティブ

一般書

2019年ノーベル化学賞受賞の吉野彰さんが科学に興味を持つきっかけになったという「ロウソクの科学」。2016年のノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典さんが大きな影響を受けた本としても知られています。マイケル・ファラデーによる名公演と実験を、図説や写真で分かりやすく解説。親子で試せる実験も紹介しています。

季節を味わう68のレシピ

高石 紀子 著 / 『365日のパウンドケーキ』



主婦と生活社

教養娯楽

ベリーのケーキ、レモンのケーキ、チョコレートのケーキ、クリスマスのケーキ…。軽い食感と優しい甘さが特徴の、季節を味わうパウンドケーキの作り方を紹介。基本の材料や道具、基本の4種類の生地の作り方など、すべて写真付きなのでとても分かりやすく、初心者でも安心。毎日食べたい、気軽に作りたいレシピが満載です。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私 がおすすめするのは、「子どものための文法の本」という本です。

この本を読むきっかけになったのは、小学生の子どもたちに正しい主語や述語の使い方、文章の作り方を教えたいと思ったことでした。

この本は、国語の授業で文法を学ぶのが苦手な子どもたちにもわかりやすいようにイラスト

今月の案内人



桃井 麻理沙さん
(緑町区)

をたくさん使って書かれています。例題や問題も載っているので、読書が苦手な子どもそれぞれの理解力

Read This Story! ~ My Favorite Story ~ 私のおすすめ図書

『子どものための文法の本』(ながみかこ文・絵)

文法とは、文を扱う上でのルールのこと。本書では、言葉の単位や主語と述語、修飾語、接続語など基本の文法をわかりやすく解説。

に合わせて読み進めていくことで文法の基本を楽しく学ぶことができます。

私はこの本を子どもたちとの個別学習で実際に活用してみましたが、子どもたちは「わかった！」と声を出しながら、本に載っている問題を解いてくれました。問題を正しく解くことができる子どもたちの自信につながります。

国語が苦手な子どもでも楽しく読



める本なので、文章が苦手な小学生のお父さんやお母さんはお子さんといっしょに読んでみてください。おすすめの1冊です。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶町公民館主催講座のお知らせ

正月飾り「スワッグ」作りを開催します

●開催日時

12月23日（月）午前10時～正午

●会場

町農業研修センター「ろくじ館」

●講師

村上光治さん（下豊内区）

●材料費

1,500円

●定員

20人

●準備物

花用ハサミ

正月飾りのしめ縄をアレンジした「スワッグ」作り挑戦します。参加希望の方はお早めにお申し込みください。

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

町公民館主催講座 郷土の歴史を訪ねて

11月13日（水）公民館主催講座「郷土の歴史を訪ねて」を開催しました。参加者25人。

熊本城復興状況と色付いた県木イチョウを眺めながら二の丸公園を歩き、県立



▲県立美術館で特別展示を見学した参加者の皆さん

美術館本館で特別展示「熊本城と武の世界」を見学しました。学芸員の説明を受けながら、加藤家・細川家

の甲冑や刀剣、城絵図などを鑑賞しました。

参加者は今年9月にオープンしたサクラマチクマモトでの昼食後、熊本市立博物館で紀元前から現代に至る暮らしや生物の移り変わりを学習しました。その後、併設するプラネタリウムで宇宙や秋の星座について学習しました。

ステップアップ講座

魚をさばきましょう

11月21日（木）町総合保健福祉センターで、ステップアップ講座「魚をさばきましょう」を開催しました。講師の中嶋幸伸さん（熊本市）は、新鮮な魚の見分け方について説明しながら、タイのウロコ取りから三枚

した11人は、包丁の使い方を丁寧に指導してもらいながら、骨の切り方や頭の開き方も実習しました。



▲講師の包丁さばきをじっくりと見学する参加者

三枚におろした後、湯引きをして氷水で冷やし、皮をはいで刺身にしました。参加者は全長30cmを超える大きなタイに悪戦苦闘しながら立ち向かいました。参加した男性は「練習のため、魚を買って帰りま

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■人権問題は、毎日の生活の中にあるものです

12月4日（水）～10日（火）は人権週間です。「人権」というと、つい難しいものだと思ってしまうませんか。次のような場面があなたのまわりで起っているかもしれません。

●友達が喫茶店で撮った写真をSNSに投稿してしていたけど、一緒にいる子の名前と顔の写真、どこのお店に何時ごろいたかも分かっってしまうし、他のお客さんの顔もハッキリ映っている。

⇒インターネットは便利な反面、発

信した情報によっては相手を傷つけたり、他人のプライバシーを侵害してしまったりする場合があります。インターネット上でも日常生活と同じように、ルールやマナーを守ることが大切です。

また、LGBTs（※）のうち、特に同性愛の方の悩みとして、何げない会話の中での「彼氏（彼女）はいる？」という一言があげられます。「異性愛が当たり前」という認識で、誰かを傷つけているかもしれません。「自分の周りに当事者がいたらどう行動するか？」と、この機会に一度考えてみましょう。

※「LGBTs」とは、L：レズビアン（女性の同性愛者）、G：ゲイ（男性の同性愛者）、B：バイセクシュアル（両性愛者）、T：トランスジェンダー（「こころの性」と「からだの性」が一致しないために、違和感を覚えている人）および以上の4つには分類されないその他の性的マイノリティも含む総称です。

「ココロ通信 Vol.36」より

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)

元気に、自分らしく暮らすために 介護予防に取り組みましょう

元気に、自分らしく、住み慣れた地域で暮らすために皆さんはどのような活動をされていますか。

今回の「あゆみだより」では、皆さんに元気に暮らし続けていただくために、甲佐町における介護予防の事業や地域で行われている活動についてご紹介します。

◆地域で取り組まれている介護予防活動の場

各地域でいきいき百歳体操などのさまざまな介護予防活動が行われています。本町においては、次の26カ所が介護予防活動の場となっています。（令和元年10月末現在）

- ・宮内地区（上揚）

- ・甲佐地区（東寒野、西寒野、上豊内、下豊内、岩下一区、岩下二区、緑町、横田）

- ・竜野地区（中横田、浅井）
- ・乙女地区（世持、南三箇、津志田、上田口、下田口、田原、和田内）
- ・白旗地区（中早川、早川、北早川、糸田、古閑、山出、芝原、吉田）

◆甲佐町における介護予防事業

「介護保険法」に基づき、町では介護予防のための取り組みとして「一般介護予防事業」と「介護予防・生活支援サービス」を実施しています。

- 一般介護予防事業
65歳以上のすべての人が利用できるサービスです。

町では、地域の公民館などにおいて、介護予防サポーターなどの協力による「地域での介護予防活動」や地域で介護予防を行う人材を養成する「介護予防サポーター養成講座」を実施しています。

●介護予防・生活支援サービス

介護保険における要介護認定で「要支援1」または「要支援2」と判定された方および町が実施する基本チェックリストにおいて「事業対象者」に該当された方が利用できるサービスです。

町の指定を受けた訪問介護事業所が利用者の居宅を訪問しゴミ捨てや買い物、入浴支援などサービスを提供する「訪問型サービス」と、町の指定を受けた訪問介護事業所が施設まで送迎を行い、生活上必要な筋力向上の訓練や入浴支援などを提供する「通所型サービス」があります。また、町が委託した医療機関の

理学療法士などが生活機能を向上するための指導を行う「はつらつリハビリ教室（通所型サービスC）」を町総合保健福祉センターにて週1回実施しています。退院後などの在宅生活をする上でのリハビリのポイントや栄養などに関する学習プログラムを4カ月間もしくは合計16回で短期集中的に実施しています。

「介護予防サテライト事業」として行っている生活支援サービスでは、町が甲佐町社会福祉協議会へ事業を委託し、老人いこいの家や各地域の福祉ふれあいセンターにおいて、週1回、昼食付きで介護予防活動（いきいき百歳体操、お口の体操など）を実施しています。自宅からの通所が難しい場合は、送迎も利用できます。

◆町では介護予防活動の支援を行っています

町では、介護予防活動の場の推進に向けて、介護予防サポーター養成や地域の介護予防活動への支援も行っています。事業説明や活動事例紹介などをご希望される地域はお気軽にお尋ねください。

▼お問い合わせ先
・町総合保健福祉センター地域包括支援センター係

☎096・235・8711
・町福祉課介護保険係
☎096・234・1114

あゆみだよりの話

介護

このコーナーでは、町総合保健福祉センター職員である保健師、管理栄養士、社会福祉士などが、健康や福祉、介護などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
岩永 一寿 社会福祉士

町総合保健福祉センターでは、町民の皆さんがいつまでも元気に自分らしく暮らしていただけるよう、地域での介護予防活動を支援しています。介護に関するサービスや介護予防サポーター養成などぜひご相談ください。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



北野 ^{ふうか} 楓蘭 ちゃん (1歳)

父・裕大 さん 母・早織 さん
(船津区)

元気いっぱいです☆

井芹 ^{しゅんや} 隼也 くん (1歳)

父・祐一 さん 母・和希 さん
(糸田区)

元気いっぱい大きくなってね



★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

12・1月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

12月19日(木) 午前9時

1月23日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

12月19日(木) 午前10時

1月23日(木) 午前10時

+ ピカピカ1歳教室

12月13日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

1月14日(火) 午後1時

+ すくすく2歳児子育て相談

12月20日(金) 午前9時20分

+ 3歳児健診

1月14日(火) 午後1時20分

Child-Care

12月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園

☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園

☎096-234-0013

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園

☎096-234-0519

1日(日)	製作展
13日(金)	お誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園

☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所

☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内)

☎096-234-0305

2日(月)	親子で読書
4日(水)	空飛びリボン
6日(金)	園庭遊び
9日(月)	新聞紙遊び
11日(金)	ままごと遊び
13日(金)	お誕生会(要予約)
16日(月)	ソフトブロック遊び
18日(水)	クリスマス帽子作り
20日(金)	お絵かき
23日(月)	クリスマス会(要予約)
25日(水)	写真でラミネート
27日(金)	ブロック遊び

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時
体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター
(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Enterprise

甲佐町進出企業協議会だより

商品に魅力を感じて 入社しました



営業主任
柿園 茂治さん

平成29年4月に入社し、主に農業関係の皆さんへの営業を担当しています。真に求めてくださる方へお届けする会社の方針と元々の商品力の高さがあり、お客様への説明がしやすいです。化石サンゴはまだ未知の可能性を秘めているので、やってみたい事業がたくさんあります。



本町への進出企業のご紹介

コーラルインターナショナル株式会社 九州支社

私の故郷である甲佐町に錦を飾りたい気持ちで、平成28年7月に九州支社を設立しました。熊本地震やその後の大雨を経て、これからやっと始まるという思いでいます。弊社の化石サンゴを世界に向けて発信し、甲佐町に貢献して参ります。

大城 綾子 代表取締役社長

事業所概要

- 所在地 甲佐町大字下横田511番地
- 従業員 13人
- 電話番号 096-285-4788
- URL <http://www.coralreg.com>

ほかに類を見ない化石サンゴ商品を世界に発信

■特性を生かして愛される企業を目指す

コーラルインターナショナル(株)は、昭和52年5月に設立。当初は建築資材として石灰岩を販売していましたが、商品の石灰岩に化石サンゴのミネラル74種が含まれていることを発見し、平成元年より化石サンゴを使用した土壌改良材などの販売を始められました。現在ではサプリメントを主軸に、土壌改良材や化粧品、浄水ろ過材などの製造・販売事業を展開されています。化石サンゴの可能性は未だ広がりを見せており、最近ではアレルギー対策として学校の壁材に使用された例も。世界でも類を見ない同社の商品は、国外でも多く使用されています。

●お問い合わせ先

甲佐町進出企業協議会事務局
(町地域振興課内)
☎096-234-1154 (内線232)

Fitness

甲佐町フィットネスセンター

自身のペースで負担なく運動を楽しんで いつまでも元気で健康な体を保ちましょう

皆様は、普段運動をされていますでしょうか。特に、高齢者の中には「腰痛・膝痛の痛みを抱えていてなかなか外に出られない」「運動をしたいが場所や機会がない」とおっしゃる方もいると思います。そういった方は、椅子に座って楽しく、負担なくストレッチや筋力トレーニングを行なうことができる

今月の講師



右田 訓文さん
(健康運動実践指導者)

「うきうき教室」に参加してみたいかでしょうか。

うきうき教室のメリットは、①指まわし等の手を使った体操や、ボールを使った体操で脳を刺激し認知症の予防に繋げることが出来ます。②椅子に座った状態で身体の筋肉をゆっくり伸ばすストレッチを行うので身体を動かしやすいです。③立ち座りやボールを使った運動等の身体の筋力を維持・向上させる筋力トレーニングを行うことで、身体を丈夫にします。自身のペースで楽しく運動をしましょう。

うきうき教室



▲うきうき教室でボールを使った運動を行う参加者の皆さん

●お問い合わせ先

甲佐町フィットネスセンター
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8712

Town Development

甲佐町まちづくり協議会

中山間地域で守り継がれる かけ干し米の収穫を体験

■本町の農業を活用した
体験会を実施

甲佐町まちづくり協議会では、来年度の運用を目指して本町の地域資源を活用した体験プログラムの開発に取り組んでいます。

同協議会では、取り組みの一環として10月12日(土)・13日(日)に本町の中山間地域で「かけ干し米稲刈体験」のモニターツアーを行いました。

■町内外の参加者が稲刈や
精米作業を体験

西寒野の井上良治さんの田で開催された今回の「稲刈体験」には2日間で町内外から26人が参加。井上さんら地元農家の指導により稲刈やかけ干し、脱穀、精米などの作業に挑戦していただきました。

初めて稲刈を体験したという熊本市在住の子どもたちも、すぐに慣れた様子で作業を楽しんでくれたようです。



▲地域住民に教わりながら刈り取った稲を竹竿にかけ干していく町外からの参加者ら

お昼には、井上さんの「かけ干し米」を土鍋で炊き上げた白米が振る舞われ、甲佐の野菜や地元猟師が仕留めた猪肉をおかずで炊きたてのお米を味わっていただきました。田んぼで食べるお米の味は格別だったのではないでしょうか。

ご協力いただいた農家さんに感謝

今回ご協力いただいた農家の皆様、大変お世話になりました。参加者からはタケノコなどの収穫体験もやってみたいという意見も頂きました。本町の農業や文化をより多くの方に知ってもらうべく、来年度の事業化に向けて、取り組んでいきます。



まちづくり協議会
米原 雄二さん

●お申し込み・お問い合わせ先

甲佐町まちづくり協議会

☎090-2850-9824

まちづくり協議会ウェブサイト

🌐 <https://magazine-bo.com/>

Old-house Renovation

古民家再生

古民家改修ワークショップで 建具塗装や面戸板を作成

11月23日(土)・24日(日)仁田子の旧西村民俗資料館で、第6回古民家改修ワークショップを開催しました。

2日間で約40人が、建具の塗装や面戸板づくり、格子壁づくり、しっくい塗りなどの作業を行いました。

建具の塗装作業では、玄関の引き戸と縁側の窓枠などの建具を濃い茶色の塗料で塗り上げました。面戸板づくりでは、縁側部分の屋根を支える軒桁とその上に掛かる垂木との高低差から生まれる隙間を埋めるために軒桁の上に入れる面戸板という部分を作成。しっくい塗りは、廊下部

次回の古民家改修ワークショップ

【開催日】12月15日(日)

【内容】外構の整理(予定)

※事前申し込みが必要です。詳しくは

「甲佐町こうさてんプロジェクト」

Facebook ページをご覧ください。



▲古民家に馴染む濃い茶色の塗料で窓枠などの建具を塗っていく参加者

分の壁などの下地塗りや仕上げ塗りを行いました。

今回の参加者の多くがこのワークショップの経験者で、作業中も互いに声を掛け合いながら和やかな雰囲気の中、作業が進められました。参加者からは「ここでしか学べないことを学ぶことができた」「あと2回で終わりだと思うと寂しい」といった感想が聞かれました。

●お問い合わせ先

町地域振興課

☎096-234-1154 (内線233)



お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会
(町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
(社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
(クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111 (代表)

①お知らせ

令和2年度保育所入園児
申し込みを受け付けます

令和2年4月から保育所へ入所を希望する人は、申し込みが必要となります。また、令和2年5月以降に入所を希望する人も必ず申し込みしてください。出産・転入予定の人でも申し込みができます。

希望者が多い場合は、希望する保育所に入所できないことがありますのでご了承ください。

▼申込受付期間

12月9日(月)～13日(金)
午前8時30分～午後5時15分

▼入所基準

- 本町に在住で、次のいずれかに該当すること
- 就労または就労予定
- 妊娠、出産

- 保護者の疾病、障がい
- 同居または、長期入院などしている親族の介護・看護
- 災害復旧作業に従事
- 就学(職業訓練校などの就業訓練を含みます)

▼申込書の請求先

- 町福祉課
- 各保育所

● 甲佐保育園

☎096-234-0186

● 若草保育園
☎096-234-0013

● 竜野保育園
☎096-234-0519

● 乙女保育園
☎096-234-3947

● 緑川保育所
☎096-234-0789

※町公式ウェブサイトからも申込書をダウンロードすることが出来ます。

▼申請・お問い合わせ先

町福祉課
☎096-234-1114
(内線146)

年末年始の旅券申請・
交付受付について

町住民生活課では、パスポート(旅券)の申請・交付受付を行っています。

パスポートの交付申請から受け取りまでの手続きに9日間(土・日曜日、祝日および年末年始を除く)掛かります。12月28日(土)から令和2年1月5日(日)までの期間は、旅券申請・交付窓口は休みとなりますので、申請が必要な場合は、余裕を持って早めに町住民生活課窓口までお越しください。

▼申請受付時間

月～金曜日 午前9時～午後4時30分
※土・日曜日、祝日および年末年始を除きます。

▼申請・お問い合わせ先

町住民生活課
☎096-234-1113
(内線104)

消費生活相談室
窓口を開設しています

町では、郡内4町と連携して、消費生活相談室を開設しています。この相談室では、訪問販売や契約上のトラブルなどのさまざまな消費者問題に専門の相談員が対応されます。相談は無料で秘密は守られます。

本町での開設は毎週木曜日となっておりますが、木曜日以外でも郡内の4町で相談できます。

▼開設時間

午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)
※土・日曜日、祝日および年末年始を除きます。

● 月曜日

益城町役場(新飯庁舎)別館1階消費生活相談室(益城町木山594番地)
☎096-286-3210

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
12月1日	谷田病院	☎096-235-1248
12月8日	荒瀬病院	☎096-234-1161
12月15日	甲佐眼科クリニック	☎096-235-5600
12月22日	荒瀬病院	☎096-234-1161
12月29日	谷田病院	☎096-234-1248

町税などの滞納処分(10月分)

種別	件数・金額など
捜索	1件
差し押さえ件数	1件
公売回数	2件
出品数	103件
滞納処分関連収入	55,344円

町からのお知らせについては、詳しくは町公式サイトをご覧ください。

URL <https://www.town.kosa/kumamoto.jp/>

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第75回～

「宮内・西原区『旧渡し場と薬師堂』」北里義友 町文化財保護委員（津志田区）

明治新政府が国土把握の目的に地域の地名・位置・地形・気候・交通・産物・風俗・習慣・伝承などを編纂した「上益城郡村誌」によると、緑川上流の西原区には対岸の広瀬区とを結ぶ渡し場があったことが記載されています。同郡村誌によれば、渡し場はその他にも、井戸江渡・尾北渡・日和瀬渡・仁田子渡・船津渡・津志田渡・辺場渡・吉田渡があった…とされています。

西原渡し場の廃止時期はわかりませんが、同区の集会場には昭和46年（1971年）1月に、西原の渡し場から船に乗ってお嫁に行かれた時の写真が掲示されています。

西原渡し場の近くには薬師堂があり、その堂内には薬師如来を中心に左右6体ずつ配置された十二神将が祀られています。薬師堂の

創建時期はわかりませんが、川を渡って旅に行く旅人が、旅の安全を祈ったものと思われます。今でも、薬師如来は西原地区の守り本尊であり、お堂は同地区の人達の信仰と憩いの場として利用されています。

また、旧暦の10月8日（11月第3日曜日前後）には東寒野の永明寺より僧侶を招き、地区をあけての大祭が執り行われています。

なお、現在のお堂は、平成の台風により倒壊したため、平成12年に建て替えられたものです。



昭和の西原の渡しの様子

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎ 096-234-2447（内線322）

- 火曜日
御船町役場分庁舎2階小会議室（御船町御船995番地1）
☎ 096・2822・1226
- 水曜日
嘉島町役場庁舎内相談室（嘉島町上島530番地）
☎ 096・2371・1112
- 木曜日
老人いこいの家ボランティア（内線144）
☎ 096・2341・1114
- ▼お問い合わせ先
町福祉課
☎ 096・2341・1114
- 金曜日
山都町役場1階相談室（山都町浜町6番地）
☎ 0967・72・3133
- ▲ア室（甲佐町岩下24番地）
☎ 096・2341・3223

募集

まちづくりワークショップ
参加者を募集します

町では、町第6次総合計画（平成23年度～令和2年度）の終了に伴って、第7次総合計画の策定を進めています。

本町の次の10年を見すえた新たな総合計画を策定するにあたり、町民の皆さんの貴重なご意見を活かすためのワークショップを開催します。

参加者を募集しますので、希望される方は町企画課までお問い合わせください。皆さんのご参加をお待ちしています。

▼内容

産業・経済・医療福祉・教育など、まちづくりに関する複数のテーマごとにグループに分かれて協議を行います。

▼開催場所

町生涯学習センター・ホール

▼募集期限

12月13日（金）

▼募集人数

20人程度

▼開催日時

令和2年1月下旬～3月上旬の平日午後7時～9時を予定

▼開催回数

4回程度

※日程などの詳細は決まり次第、町公式ウェブサイトなどでお知らせします。

▼お申し込み・お問い合わせ先
町企画課
☎ 096・2341・1115
（内線251）

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（10月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	212,930	13,060	2,150
資源ごみ	26,200	5,660	7,510
粗大ごみ	6,080	760	2,180
合計	245,210	19,480	8,900

※単位：kg

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	10月	年累計
人身事故	1	13
物損事故	22	159
盗難など	0	5

10月30日現在

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	1	(0)
原野	0	(0)
その他	1	(0)
合計件数	2	(0)

11月15日現在（カッコ内は前年比較）

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「YOUスポーツ&カルチャークラブ」
12月のアユスポ・カレンダー



アユスポ卓球

アユスポ卓球の皆さん

一緒に卓球を楽しみませんか？

● スポンジテニス&

バドミントン

甲佐小体育館

月曜日（祝日除く）午後7時30分

● 少年柔道スクール

甲佐中武道館「甲心館」

・中学生の部

月・水・木・金・日曜日

・小学生の部

月・水・金曜日

いずれも午後7時

● 卓球

町生涯学習センター・ホール

水・金曜日（祝日除く）午後7時30分

● ノルディックウォーキングスクール

白旗小体育館

第1・3月曜日 午後7時

乙女小体育館

第1・2・3金曜日 午後7時

● トランポリンスクール

特別養護老人ホーム桜の丘

金曜日 午後5時30分

● サッカースクール

甲佐中グラウンド など

火・木・金曜日 午後7時

土・日曜日 不定期

● 女子サッカースクール

甲佐中グラウンド など

水・金曜日 午後7時30分

土・日曜日 不定期

● ジュニアバスケットスクール

※ 場所・時間ともに不定期の為
お問い合わせください。

■ お問い合わせ先

「YOU(アユ)スポーツ&カルチャークラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)

お知らせ

農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、令和2年2月1日現在で、全国一斉に「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、わが国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査で、5年ごとに行われます。

1月中旬から調査員が農林業関係者の方々を訪問し、経営状況などの聞き取り調査や調査票の配布を行います。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

▼お問い合わせ先

・ 県統計調査課

☎096-3333-2177

町企画課

☎096-234-1115

(内線251)

危険物取扱者試験のご案内

一般財団法人消防試験研究センターでは、県知事から委託を受けている危険物取扱者試験を次のとおり実施します。受験会場や申請方法、受験資格などの詳細は同センター熊本県支部までお尋ねください。

▼試験の種類

・ 甲種危険物取扱者試験

・ 乙種危険物取扱者試験（第1類～第6類）

・ 丙種危険物取扱者試験

▼試験日時

令和2年2月2日（日）

・ 午前の部 9時30分集合
（甲種・乙種第4種）

・ 午後の部 午後1時集合

（乙種第1・2・3・5・

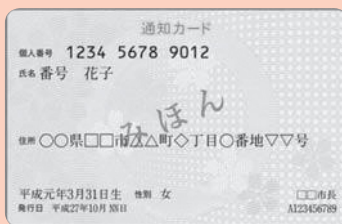
Informations

マイナンバー（個人番号）のご確認をお願いします

■ マイナンバー（個人番号）は確定申告の際に提示や記載が必要です

マイナンバーは、1人に1つだけの番号で役所などでの手続きに必要なもの。すでに、社会保障分野や税分野などにおいて利用が開始されています。

令和2年2月の確定申告には、マイナンバーカードや通知カードの提示および申告書へマイナンバーの記載が必要となります。通知カードは捨てたり破ったりせず大切に保管してください。



マイナンバー通知カード



マイナンバーカード

■ マイナンバーカードを作りませんか

マイナンバーカードは個人番号が記載された顔写真付きのセキュリティの高いカードです。公的な身分証明書としても広くご活用できます。

カード内のICチップには利用者用電子証明書と署名用電子証明書が搭載され、e-Tax（国税電子申告・納税システム）などの文書の提出を伴う電子申請などに利用されます。

マイナンバーカードを希望される方は、申請により初回は無料で交付されます。現在は申請から1カ月ほどで完

成し、町住民生活課窓口で本人確認後の交付となります。

町住民生活課窓口では町職員が無料で顔写真を撮影し、マイナンバーカードの申請サポートを行っています。

確定申告にも使用できますので、e-Tax をご利用予定の方は、お早めに申請をお願いします。

※通知カードやマイナンバーカードを紛失した場合は届けが必要です。詳しくは町住民生活課にお尋ねください。

▶ お問い合わせ先 町住民生活課 ☎096-234-1113（内線101）

今月のお知らせ

プレミアム付商品券 年末のお買物にいかがですか？

住民税非課税者と3歳6カ月未満のお子さんがある世帯主を対象に、プレミアム付商品券を甲佐町商工会で販売しています。住民税非課税者の場合、町福祉課への申請書の提出が必要です。申請がお済みでない方は、お得なプレミアム付商品券をぜひお申し込みください。

- ▶ **申請期限**
12月27日（金）
- ▶ **受付時間**
午前8時30分～午後5時
（土・日曜日および祝日は除く）
- ▶ **お問い合わせ先**
町福祉課 ☎096-234-1114

ご支援ありがとうございます

ふるさと甲佐 応援寄附金

ふるさと納税のお礼の品として贈呈している本町の特産品を紹介します。



「ニラえびあられ」
こうさんもん No.16

高校と地元企業が協力して商品化

- ▶ 県立甲佐高等学校
☎096-234-0041

- ▶ 町公式ウェブサイト
「ふるさと納税」ページ
<https://www.town.kosa.kumamoto.jp/q/aview/136/233.html>

「ふるさと甲佐応援寄附金」
にご協力いただきまして、
ありがとうございます。

- ▶ ご寄付いただいた皆様
お名前 住所
- ・井元 幸司様 福岡県
- ・中津 友次様 奈良県
- ・福嶋ひろ枝様 埼玉県 ほか

- ▶ 令和元年度寄附金額合計
3,379,000円
（10月31日現在）

- **お問い合わせ先**
町地域振興課
☎096-234-1154（内線232）

**障がいのある方の
職業訓練生を募集します**

県立高等技術専門校では障がいのある方を対象とした職業訓練を行っています。次の

募集

- 6種・丙種
- 受験地
熊本市
- 申請受付期間
書面申請
12月12日（木）～19日（木）
土・日曜日を除く午前9時～午後4時30分
- 電子申請
12月9日（月）午前9時～16日（月）午後5時
- 申請・お問い合わせ先
（一財）消防試験研究センター
熊本県支部（熊本市中央区九品寺1丁目11番4号）
☎096-3664-5005

- 期間の訓練生を募集します。
- 受講対象者
身体（聴覚・上肢・下肢・内部）、精神、発達、難病、高次脳機能
- 定員
8人
- 内容
Word、Excel、PowerPointを初級から学び就職に必要な知識技術を習得、資格取得を目指します。
- 募集期限
12月27日（金）
- 訓練期間
令和2年2月4日（火）～4月30日（木）
- 経費
テキスト代7,860円
- テキスト代7,860円（税抜き）程度
- 訓練場所
株式会社総合プラント
（熊本市中央区神水1丁目38-10）

- お問い合わせ先
県立高等技術専門校
☎096-297-9915
- お問い合わせ先
県生涯学習推進センター
☎096-355-4312
- お問い合わせ先
（熊本市中央区手取本町8-9）
県生涯学習推進センター
☎096-355-4312

e 開催

**わくわく！パレアフエスタ
を開催します**

県生涯学習推進センターでは、県民の学習意欲の向上と学習活動への参加を促進するため生涯学習フェスティバル「わくわく！パレアフエスタ」を開催します。

竹とんぼや化石レプリカなどのものづくりやポッチャやボードゲームなどの体験が楽しめます。ご家族でぜひお越しください。

- 開催日
令和2年1月25日（土）午前10時～午後4時
- 会場
くまもと県民交流館パレア

c 暮らし安全

**年末年始の犯罪や交通事故
を防止しましょう**

年末年始は金融機関などを狙った強盗事件や車上ねらい、乗り物盗（オートバイ盗、自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。また、車の利用も増え、交通事故も増加します。不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するなどの地域ぐるみの取り組みで犯罪や交通事故を未然に防止しましょう。

- お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
（御船警察署内）
☎096-282-1110

Sports

令和元年度秋季ナイターソフトボール大会および第20回職場対抗ソフトバレーボール大会結果



▶ 各大会で優勝した乙女タイギャース（上）とあゆの里

● ナイターソフトボール大会成績

- 優勝 乙女タイギャース
- 準優勝 Nスターズ
- 主催
甲佐町ソフトボール協会（池田美会長）
- 開催日
10月15日（火）～25日（金）
- 会場
甲佐中学校グラウンド

● 職場対抗ソフトバレーボール大会成績

- 優勝 あゆの里
- 準優勝 フォレストリバー
- 主催
甲佐町バレーボール協会（西坂直会長）
- 開催日
10月30日（水）
- 会場
甲佐小学校体育館



甲佐小6年生がさつまいもの収穫を体験（下豊内）

うたごよみ 師走

「短歌」

渡辺幸士選

あどけなく澄んだ瞳の嬰子に幸多かれと
そつと抱きしむ
池田キヨ子

菊芋の花は可憐に咲きみだれ茎は天然のイ
ンスリンなり
緒方 明美

「秋萩の咲き散る野辺ぞ」古の歌人をしの
び萩の野をゆく
塚原 暁益

幾度か切らんとする木犀は屋根の高さに咲
きて香れり
内田乃武子

一瞬に濁流と化す千曲川溢れ止まらず街沈
みゆく
吉永由紀子

寒い朝猫日向ぼっこ名を呼べばミヤンと答
えて吾の相手す
赤星 文子

夏すぎて涼しい秋は来たけれど台風来ぬか
と不安が募る
上村やす美

秋雨に心さびしく独り身の妻の面影うかべ
酒酌む
白梅 武人

退屈は蝶々のごとく飛んで来て吾の孤独に
ひらりと止まる
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「にらむ」

あの男にらんだとおり悪だった
にらまれてこつそり止める気の弱さ
百年先にらんでほしい国づくり
林 雅之
日隈 俊郎
川村 文子

「酒」

もう一杯ください夢が醒めぬよう
ビアガーデン同床異夢のジョッキ挙げ
清川みどり
渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

眠かこつ 発言せんちゃよか議員 広田みどり
眠かこつ ラグビー熱のまだ続き 下山 千恵
眠かこつ 母しか出来んお乳やり 志垣 光
眠かこつ 面白無アて眠か振り 佐藤 葵
眠かこつ 聞き役もたいぎやなきつか 平井やよい
眠かこつ 昼寝の癖がついたけん 長原 産賀
眠かこつ 葉のまあだ残つとる 佐野 京
眠かこつ 寝溜めする事ア出来んどか 光永 六
眠かこつ 進級かけた一夜漬け 井元あざみ
眠かこつ 一口だけで効いて来た 日高 美里
眠かこつ 下手な教授の長話 上田 梅清
眠かこつ 何さま飲うだ盗人酒 日隈 元良
眠かこつ 口走るなら冷かされ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

10月11日(金)～11月10日(日)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
白旗	渡邊 朝陽	男	和 樹
白旗	山形 和誠	男	和 広
仁田子	カンガスタージェム	男	プレストン

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
〔夫 妻〕	下横田	北畑孝太郎
	下横田	本田花奈子

condolence お悔やみ申し上げます

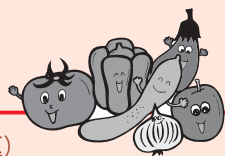
住所	氏名	年齢	世帯主
早川	山本 昭七	86	アイ子
岩下	植村 眞知	92	稲葉政敏
上早川	佐村 厚子	88	厚子
津志田	葉山ツルエ	98	ツルエ
津志田	一圓 伶子	82	秋 男
仁田子	久佐賀アヤ子	73	アヤ子
岩下	甲斐富美子	90	富美子
津志田	北林 誠楠	80	誠 楠
世持	志垣みどり	52	彰 英
豊内	丸山イチ子	94	誠 喜
糸田	本郷チエ子	87	博 行

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,049	▲1
女	5,550	▲7
計	10,599	▲8
世帯数	4,286	▲1

令和元年10月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

焼き大根

ご存知ですか？

煮ても焼いても、そして生でも美味しい大根。実は弥生時代から食べられていたってご存じですか。

これからの時期は、忘年会などで飲んだり食べたりが増え、二日酔いで悩むことがあるかもしれませんね。そんなときのお助けマンガ「おろし大根」です。食べ過ぎたときの胃のもたれや消化を助けてくれます。二日酔いで辛いときも「おろし大根」の汁を飲むと、胃の重たく嫌な感じが解消します。

できれば「おろし大根」は皮ごとすりおろしてください。よりたくさんのビタミンCが肝臓の働きを高めてくれますよ。



作り方

- ①大根は皮をむき、厚さ1.5センチの輪切りにし、お湯で柔らかくなるまでゆでましょう。
- ②フライパンにゴマ油とサラダ油を熱し、薄切りにしたニンニクを入れ弱火で炒めます。ニンニクのいい香りがしてきたら、①の大根を1個ずつ丁寧に並べて焼いていきます。
- ③大根に均等な焼き色が付いたら、合わせ調味料を入れ、焦げ付かないよう注意してじっくり焼き上げます。
- ④皿に盛り付けて、刻んだ小ネギを散らしたら出来上がりです。焼き立てのアツアツをどうぞ!

材 料（4人分）

大根	……………	1 / 2本
ニンニク	……………	2～3片
ゴマ油	……………	大さじ1 / 2
サラダ油	……………	大さじ1 / 2
小ネギ	……………	少々
合わせ調味料		
お好みの味噌	……………	大さじ2
赤酒	……………	大さじ2
しょうゆ	……………	大さじ1

日中も冷え込む日々が続く本格的な冬の到来を感じるようになりました。落葉樹は葉を落として晩秋の装いとなっています。今月号では、文化の秋・実りの秋・食欲の秋を楽しむ産業文化祭の様子をお伝えしています。これまで練習してこられた成果を発表するステージ上の皆さんは、とてもはつらつとされていたように感じました。今年の産業文化祭には、県立甲佐高校もご参加いただき、例年以上に活気のあるものになったのではないかと思います。

この広報紙が皆さんの手に届くころには、甲佐の冬を代表する「熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会」の幕も閉じ、令和初めての年越しに向けてせわしない日々が始まっているのではないのでしょうか。体調管理には十分気を付けて、多忙な師走を乗り切りましょう。

(と)

編集後記

子どもたちが咲かせる「人権の花」で思いやりの心を育もう

「何気ない一言で相手を傷つけてしまわないよう、子どもたちには相手を思いやる優しい心を育ててほしいです」と話すのは、甲佐町人権擁護委員の沼田峰子さん(北原区)。人権擁護委員は、地域で人

権活動に取り組む法務大臣から委嘱された民間ボランティア。本町では、沼田さんと共に芦原博幸さん(糸田区)、野仲俊一さん(上早川四区)、元村伴子さん(横田区)が、学校や企業などでの人権啓発



芦原 博幸さん

Ashihara Hiroyuki
〔糸田区〕

野仲 俊一さん

Nonaka Syunichi
〔上早川四区〕

沼田 峰子さん

Numata Mineko
〔北原区〕

元村 伴子さん

Motomura Tomoko
〔横田区〕

甲佐町人権擁護委員 / いじめや差別、虐待などの人権問題解決に取り組む。毎月1回、町総合保健福祉センターなどで人権問題の相談を受け付けている。みんなの人権110番 ☎0570-003-110) などの電話相談もご利用ください。

や法務局での電話相談を通して、子どもや男女間、高齢者・障がい者などの人権問題解決に取り組んでいる。本年度、沼田さんらは、甲佐の子どもたちが人権について考える機会を充実させたいとの思いから、甲佐町『人権の花』運動を起ち上げた。同運動は、子どもたちが協力して花を育てることでのちや人権について考えてもらおう

というもので、町教育委員会と協力しながら町内4つの小学校を持ち回りで実施している。この取り組みは、くまもと人権啓発活動地域ネットワーク協議会が郡内の小学校で毎年1校ずつ実施している同名事業を町独自で行うもので、町が単独で実施するのは県内でも珍しいという。

「町内4校の持ち回りとする」ことで、すべての子どもたちが小学校在学中に一度は運動に参加できます。子どもたちが育てた花の種が次の小学校に贈られ育てられることで甲佐町に『人権の花』の環が広がることを期待しています」と話す沼田さんは12月4日(水)から始まる甲佐町『人権週間』実行委員長も務めている。

「12月7日(土)には町生涯学習センターで町民集会も開催されます。子どもたちだけでなく、多くの方に参加していただき、人権について考えるきっかけにしてほしいです」と話す沼田さんらは、差別のない思いやりのまちを目指して力を尽くす。